



兵役 在日の私は決めた

「男は軍隊に行って一人前」色濃い韓国



後、2021年4月、ソウルの語学校で韓国語を学んだ

ある韓国を知ろうと決断。

大学を中退し、ソウルの語学校で韓国語を学んだ

金さんは日本で生まれ育ち、韓国語もそんなに話せなかつた。もともと関西地方の大学に通つてたが、特にやりたいこともなく、1年生の1学期が終わるころには大学に行かなくなつた。

フィリピンに語学留学するなどして1年を過ごしたが、達成感は乏しかつた。何かを変えたい。そんな思いが募り、自分のルーツで

日本で生まれ育ち、韓国で兵役に就いた金世煥さん(21)。頭を丸刈りにして入隊した

金さんは日本で生まれ育ち、韓国で兵役に就いた金世煥さん(21)

1月30日、韓国の陸軍に入隊する日を迎えたソウル

市内の大学3年生、金世煥さん(24)は高揚感と不安感が入り交じつた複雑な気持

になつてた。「入隊日は経験したことのない感覺に襲われる」。すでに兵役を終えた友人から聞いていた言葉を思い出した。

金さんは日本で生まれ育ち、韓国語もそんなに話せなかつた。もともと関西地方の大学に通つてたが、特にやりたいこともなく、1年生の1学期が終わるころには大学に行かなくなつた。

金さんは日本で生まれ育ち、韓国で兵役に就いた金世煥さん(21)

見えない市民権取りに行く

1月30日、韓国の陸軍に入隊する日を迎えたソウル

市内の大学3年生、金世煥さん(24)は高揚感と不安感が入り交じつた複雑な気持

になつてた。「入隊日は経験したことのない感覺に襲われる」。すでに兵役を終えた友人から聞いていた言葉を思い出した。

金さんは日本で生まれ育ち、韓国語もそんなに話せなかつた。もともと関西地方の大学に通つてたが、特にやりたいこともなく、1年生の1学期が終わるころには大学に行かなくなつた。

金さんは日本で生まれ育ち、韓国で兵役に就いた金世煥さん(21)

日本で生まれ育った在日韓国人の男子大学生が留学先の韓国で兵役に就いた。「男は軍隊に行って一人前」という意識に背中をおされた形だが、近年は若者の考え方方に変化がみられ、女性にも兵役を課すべきだという議論も出ている。



韓国の徴兵制

男性は原則28歳までの入隊が義務づけられている。兵役期間は短くなる傾向にあり、現在は陸海空軍いずれも2年以下。直面する課題は少子化で、19~21年にかけては毎年22万人台だった新規入隊者数は22年には18万人台に減った。兵務庁は要員確保策を講じ、外國民に目を向けたりにし、「韓国では軍隊に行かない」と認められないのだな」と感じた。

自分が兵役に就く意味は何だろうか、と自問するようになつた。3年ほど入隊生活を通して韓国に対する愛着がわいた。日韓の学生交流イベントを運営する団体での活動も始め、充実した時間を過ごしていた。

一方、疎外感を感じる瞬間もたびたびあつた。「お前、いつ軍隊行つたの?」。韓国人の男性との会話で「軍隊」というワードが飛び出すたびに、心にもやもやしたもの抱えた。

金さんは日本の永住権を持っており、周囲から「兵役を回避する方法もある」と言われたこともある。だが、軍隊の話に花を咲かせる男性たちを目の当たりにし、「韓国では軍隊に行かない」と認められないのだな」と感じた。

の若い世代には、「男は軍隊に行ってこそ『一人前』といつた昔からの価値観に距離を置こうとする人もいるが、金さんは「軍隊に行つて帰つてくれば本当の意味で認められると思う。より韓国を知ることのできる機会と感じるようにしていきます」と前を向く。

女性の徴兵論争に

22年9月「国軍の日」に参加する韓国軍の兵士たち(ロイター)

韓国では近年、女性にも兵役を課すべきだとの論争が活発化し、男女間の分断を広げているとも指摘されている。

男女格差を示す「ジェンダー・ギャップ指数」で29年の韓国は105位。文在寅前政権は女性登用などジェンダー政策に力を入れたが、これに反発したのが就職難に苦しむ20~30代の男性層だった。

尹錫悦大統領が22年の大統領選で、公約に女性の地位向上に関する施策を担う女性家族省の廃止を掲げるなど、出入口調査で20代男性の約6割が尹氏に投票した結果が出た。尹氏を支持する男性(35)は「兵役で時間を使つたのに恩恵もなく、女性だけ優遇される」と訴える。だが、女性の徴兵制は社会的な合意などで解決しなければならない課題が多く、非現実的な状況にある。

韓国の安保や内政に詳しい伊藤弘太郎・キヤノングローバル戦略研究所主任研究員は「所属部隊によっては社会的評価が高まるな

ど、年長者を中心に兵役経験を重視する社会的雰囲気は男性中心社会が続いた韓国特有のものでマッチョイメージ(男らしさを重んじる考え方)の一つ」と見る。

一方、ジェンダー平等や多様性に対する意識の高まりに伴う若者の考え方の変化についても指摘する。「今の若者はかつてのようないふつある側面もある」と話す。(フカル・河野光达)